



ダメ！高齢者虐待

高齢者虐待を予防のためにできること

高齢者虐待は、高齢者の人権を侵害する深刻な問題です。

高齢者虐待が起こる背景としては、高齢者の認知症が進行して問題行動が増えたり、寝たきりなどで介護の負担が重くなったりして、介護者が心身ともに疲労し、追いつめられて発生している場合があります。

虐待を受けている高齢者や介護に疲れた家族のサインに周囲の方が早めに気づくことが、高齢者虐待を予防し、事態の深刻化を防ぎます。

● **早期発見のためのサイン(例)**
● 体に小さな傷が頻繁にみられる

● 「怖いから家にいたくない」などの訴えがある

● 自宅から高齢者や介護者などの怒鳴り声や悲鳴が聞こえる

● 天気が悪いにもかかわらず、高齢者が長時間外にいる姿がしばしばみられる

● 近所づきあいがなく、訪問しても高齢者に会えない、または嫌がられる

● 高齢者の健康や疾患に関心がなく、医師への受診や入院の勧めを拒否する

◎ **高齢者虐待の防止を心掛けましょう**

高齢者虐待を防止することは、虐待を受けている高齢者はもちろんのことですが、養護者や介護者にも必要です。

『何かおかしい』

『どうしたらいいんだろう』

そう思ったからお気軽に相談窓口

に連絡してください。

▼ **高齢者虐待に関する相談窓口**

高齢・介護グループ (☎ 85 5 720)、または地域包括支

援センターあおい (☎ 83 0 5 11)・ゆのか (☎ 88 2 1 0

6)・けいあい (☎ 82 5 0 0

5)



人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

すずかけコーラス

『すずかけコーラス』は平成2年に、高齢者のためのコーラス団体として結成。現在20人の会員で、木曜日(月3回)10時から鉄南ふれあいセンターで練習をしています。

「コーラスといえば合唱曲を想像すると思いますが、童謡や唱歌、歌謡曲なども楽しんでいきます」と話すのは会長の白戸昌子さん。「昨年は、結成20周年を記念して『20周年ありがとうコンサート』を開催することができました。今年も、みんなが、初心に帰って、歌うことを大いに楽しみ、日々の生活に明るさと潤いを持ちたいです」と抱負を語ってくれました。

指導をする石山深幸さんは「会員の皆さんは、歌に励ま



みんなで声を合わせて楽しく歌うことが、わたしたちの健康の秘訣です



されてきた世代。歌うことを心から楽しんでるからこそ、一生懸命に取り組めるのだと思います」と活動の楽しさを話してくれました。

会員になり11年目の柳田佳子さんは「広報紙を読んで入会しました。最初は人前で歌うのが恥ずかしかったですが、今は、ハーモニイを楽しめるようになりました」とコーラスの魅力を話してくれました。白戸さんは「現在の最年長は82歳。お腹から声を出すことは、健康にいいんです。歌が好きならどなたでも参加ください。初心者や男性の方も歓迎します」と呼びかけていました。

入会を希望する方は、白戸さん(☎ 85 6 0 0 1)まで。